

TCP-D261E TCP-D261BTE

UHFデジタル簡易無線電話装置(免許局)

取扱説明書(詳細編)



KRA-27B 装着時

株式会社 JVCケンウッド


B5A-3791-00/03 (J)


目次

別売りについて	
オプション一覧	3
ご使用前に	
バッテリーパックの取り扱い	4
バッテリーパックの取り付け	4
バッテリーパックの取り外し	4
接続端子の清掃	5
バッテリーパックの充電	6
充電台の連結のしかた	6
充電のしかた	7
オプション機器の接続 (別売品)	9
半挿しエラー警告	9
ストラップの取り付け	9
アンテナの取り付け	10
ベルトフックの取り付け	10
各部の名称と働き	
操作キー/ツマミ	11
表示部	12
操作のしかた	
操作説明について	14
通話する	14
通話するときのアドバイス	15
Bluetooth [®] 機器を使って通信する (TCP-D261BTEのみ)	16
Bluetooth 機器とペアリングする	16
Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意	18
その他の基本機能	19
バックライト機能	19
送信出力切替機能	19
キーロック機能	19
モニター機能	19
ラジオモードセレクション機能	20
無線機情報モード	20
全初期化モード	21
SPP モード (TCP-D261BTEのみ)	21
メニューモードについて	22
メニューモードへの入り方	22
メニューモードの操作方法	22
メニューモード機能一覧	23
その他	
販売店にて追加できる機能について	25
故障かな?と思ったら	26
電波法に関するご注意	27

- ◆ メニューモードの機能一覧の項目については、メニューモードの機能一覧のページを参照ください。

説明上の注釈表記について

 ◆ このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

 ◆ このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

別売り品について

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

KNB-75LA.....	リチウムイオンバッテリー (1820mAh)
KNB-76L.....	リチウムイオンバッテリー (2200mAh)
KSC-47L.....	急速充電器 (連結非対応)
KSC-49LCR.....	連結充電台
KSC-45LSL.....	KSC-49LCR 連結充電台用 AC アダプター
KSC-256A.....	6 連急速充電器
KRA-23.....	UHF ヘリカルアンテナ
KRA-27B.....	UHF ホイップアンテナ
KBH-20.....	ベルトフック
KBH-21.....	ベルトフック
KMC-55.....	スピーカーマイクロホン
SMC-35.....	スピーカーマイクロホン
SMC-36.....	スピーカーマイクロホン
EMC-13.....	イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
EMC-14.....	イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
EMC-15.....	イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
EMC-16.....	イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
KHS-37.....	ヘッドセット (耳掛けタイプ) < VOX 対応 >
KHS-55BT.....	ワイヤレスヘッドセット < VOX 対応 > <small>(TCP-D2618TEのみ)</small>
KEP-6.....	イヤホン (φ 2.5)
HS-9(G).....	プチホン型イヤホン (φ 2.5)
KBP-9.....	バッテリーケース
KLH-203.....	ハードケース
KLH-210.....	ハードケース
KSB-1.....	ショルダーベルト



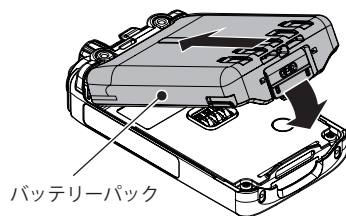
- ◆ バッテリーケース KBP-9 使用時の送信出力はローパワー (1W) になります。
- ◆ 本機に使用できるオプションについては、追加されたり、生産が終了したりすることがあります。最新の情報についてはカタログなどをご覧ください。

ご使用の前に

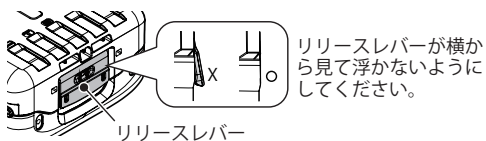
バッテリーパックの取り扱い

バッテリーパックの取り付け

- 1 バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、バッテリーパックを押し込みます



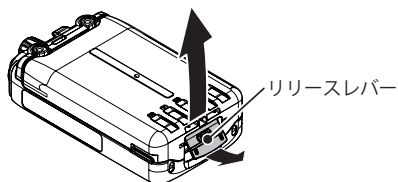
- 2 リリースレバーを本体にロックさせます



! ◆ バッテリーパックを取り付け / 取り外すときは、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。

バッテリーパックの取り外し

- 1 バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します



ご使用前に

バッテリーパックの特性について

- ・ 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- ・ 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- ・ 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- ・ 高温状態で充放電したり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- ・ バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが常温まで冷めてから使用してください。常温の状態でも使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- ・ 長期間保管後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- ・ 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電/放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

使用済みバッテリーパックの取り扱い注意事項

- ・ プラス端子、マイナス端子をテープなどで絶縁してください。
- ・ 被覆をはがさないでください。
- ・ 分解しないでください。



Li-ion 20
充電式


不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、弊社営業担当窓口、または販売店へお持ちください。リサイクルにご協力をお願いいたします。





バッテリーパック使用時間の目安

使用条件	電池セーブ機能	
	オン	オフ(初期値)
KNB-75LA 使用時	15 時間	13 時間
KNB-76L 使用時	18 時間	15 時間

送信出力 5W で、送信 5/受信 5/待受 90 の比率にて連続運用した場合の時間です。

バッテリーパック残量警告

バッテリーパックの容量が減ると、表示部の「」が点滅し、LED が赤色に点滅し「ププブ」と警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

: 十分 : 残量あり : 残量少  (点滅): 残量なし (要充電)

バッテリーパックの充電バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。使用前に必ず満充電にしてください。また、使用後も必ず充電してください。

接続端子の清掃

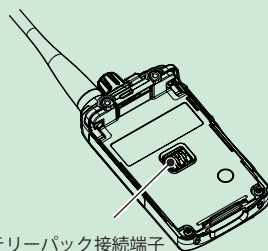


◆ バッテリーパック接続端子の清掃には、ウェットティッシュは使用しないでください。

ウェットティッシュを使用して清掃すると接触不良の原因となる場合があります。

接続端子の清掃には、乾いた綿棒を使うか、綿棒などに無水エタノール(無水アルコール)を少量含ませて、端子が変形しないようにやさしく拭いてください。

無水エタノール(無水アルコール)は薬局・薬店で市販されています。



バッテリーパック接続端子

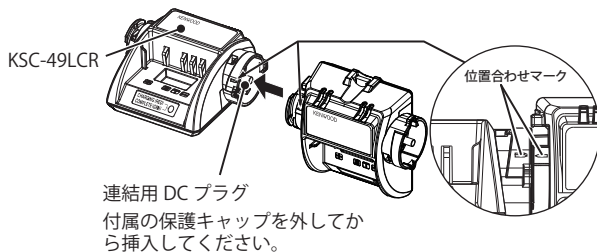
バッテリーパックの充電

充電台 KSC-49LCR / ACアダプター KSC-45LSLを使用する場合：

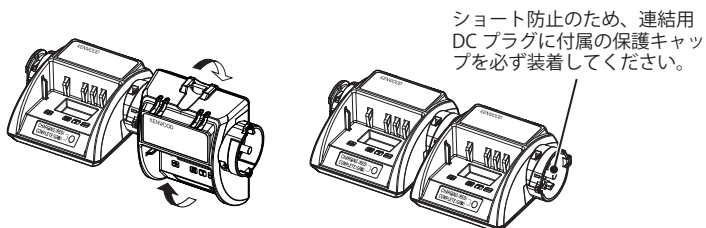
充電台の連結のしかた

充電台 KSC-49LCR は最大 6 台まで連結することができます。

1 充電台側面の凹凸を組み合わせて挿入する



2 「カチッ」と音がするまで、矢印の向きに回転させて、確実に連結する

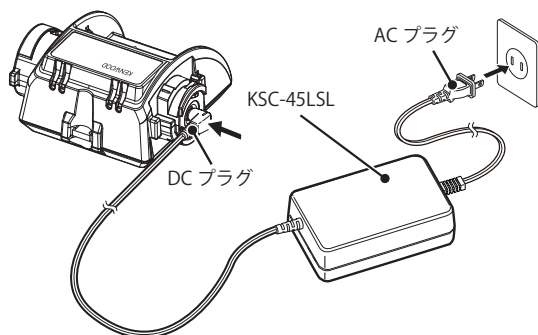


- ◆ KSC-49LCR 以外の充電台は連結できません。
- ◆ 7 台以上の連結は絶対にしないでください。故障の原因となります。
- ◆ 連結した状態で充電台を持ち上げたり、移動したりしないでください。連結部が破損する原因となります。

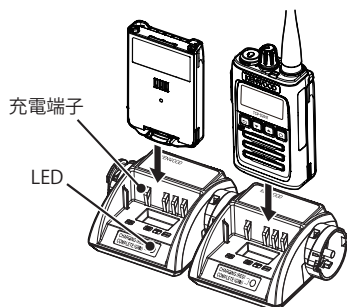
ご使用前に

充電のしかた

- 1 ACアダプター KSC-45LSLのDCプラグを充電台に接続する
- 2 ACプラグをコンセントに差し込む



- 3 バッテリーパック、またはバッテリーパックを装着した状態の無線機を充電台に差し込む
 - バッテリーパックの金属端子が充電台の充電端子にしっかりと接触していることを確認してください。
 - LED が赤点灯して充電が開始されます。



◆無線機をご使用しながら充電はできません。無線機を充電台に差し込むときは、必ず電源を切ってください。

- 4 充電が完了すると、LEDが緑点灯する

バッテリーパックまたは無線機を抜き取ってください。
充電時間の目安は下記のとおりです。

- KNB-75LA：約 200 分
- KNB-76L：約 250 分

ご使用前に

充電時の状態表示

LEDの色	状態
赤点灯	充電中であることを表します。
赤点滅または点灯しない	バッテリーパックが正しく差し込まれていない場合があります。再度差し込みなおしてください。また、充電端子が接触不具合を起こしている場合もあります。充電台の端子やバッテリーパックの端子を綿棒や乾いた布で拭いてから再度充電してください。 それでも改善しない場合は、バッテリーパック、または充電台に何らかの不具合があります。直ちに充電を中止して、お買い上げの販売店、または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
緑点灯	充電が完了したことを表します。
緑と橙が交互に点灯	バッテリーパックの温度が充電温度範囲外になっています。一度バッテリーパックを充電台から抜き、バッテリーパックが常温になってから再度充電台に挿入してください。



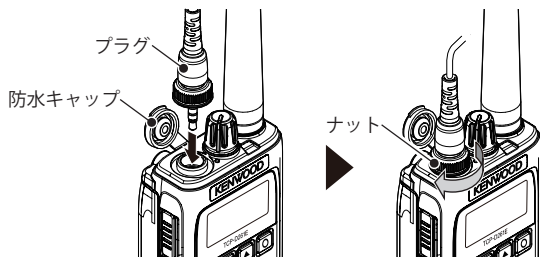
- ◆必ず専用のバッテリーパック、充電台、ACアダプターを使用して充電してください。指定以外の機器を用いて充電すると故障の原因になります。
- ◆充電台や、ACアダプターまたはACアダプターのケーブルが損傷している場合は、充電せずお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ◆充電端子を金属物などでショートさせないでください。
- ◆コンセントから、ACアダプターを外す際は、コードではなくACプラグを持って抜いてください。
- ◆充電台は、ACアダプターのケーブルを踏んだり、引っ掛けたりして、損傷したりしない場所に置いてください。
- ◆本体やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因になります。無線機本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよく拭き取ってから充電台に差し込んでください。
- ◆充電台の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。
- ◆充電台の近くで無線機を使用すると、充電台が誤動作することがあります。

ご使用前に

オプション機器の接続 (別売品)

イヤホン/スピーカーマイクロホンなど外部機器を接続します。

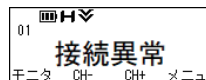
防水キャップを外して、無線機の接続端子にオプション機器のプラグを差し込み、プラグのナットを時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



- ◆必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
- ◆防水キャップが正しく取り付けられていないと防水性能は保証できません。オプションを使用しないときは、防水キャップが正しく取り付けられていることを確認してください。また、オプションを接続した場合は防水性能の保証はできません。
- ◆断線防止のため、オプションを取り外すときは、プラグを持って取り外してください。

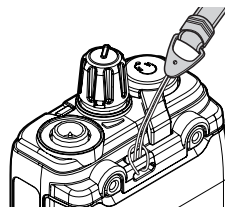
半挿しエラー警告

オプション機器のプラグ接続が不完全な場合を検出すると、右記の画面になりエラー音が鳴ります。接続の不具合が解消されたときエラー表示とエラー音は停止します。



ストラップの取り付け

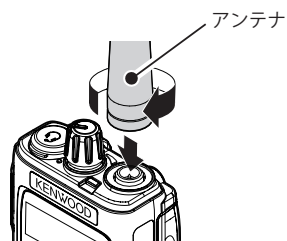
別売品のネックストラップ SB-4 や市販品のストラップを取り付けるときは、無線機背面上部のストラップ用穴を使用してください。



ストラップを持って本機を振り回したりしないでください。故障やけがの原因となります。

アンテナの取り付け

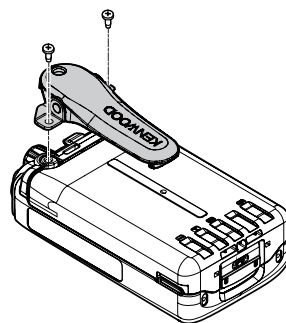
アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



ベルトフックの取り付け

ベルトフックと本体のねじ穴を合わせて、付属のねじで取り付けます。

ベルトフックを本体のねじ穴に合わせて、ねじが緩まないようにしっかり取り付けてください。

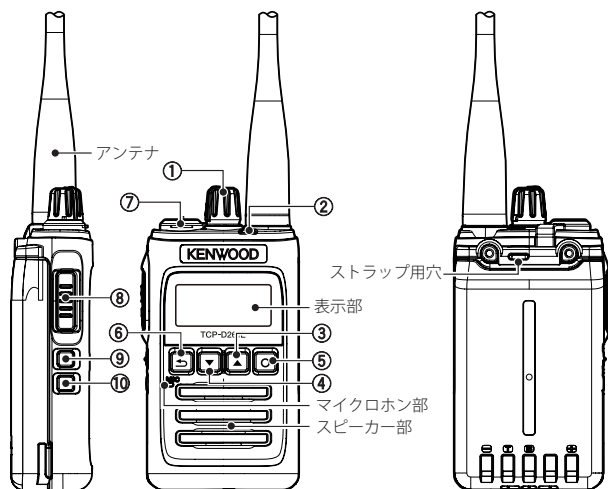


- ◆ 付属以外のねじを使用しないでください。
- ◆ 時々ねじの緩みがないか確認してください。

各部の名称と働き

操作キー/ツマミ

本機の【○】、【▲】、【▼】、【↵】、【サイド1】、【サイド2】キーには、任意の機能を登録することができます。



①【電源/音量】ツマミ

電源のオン/オフ、および音量を調節します。

② LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

選択呼出受信のときは設定した色に点滅します。

③【▲】アップキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	チャンネル番号が上がります。
押し続ける。	チャンネル番号が連続して上がります。

④【▼】ダウンキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	チャンネル番号が下がります。
押し続ける。	チャンネル番号が連続して下がります。

⑤【○】メニューキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	メニューを表示します。
押し続ける。	キーロック機能がオン/オフします。

⑥【↵】バックキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	押し続けているあいだ、現在のチャンネルをモニターします。
押し続ける。	

⑦ オプション接続端子(防水キャップ)

イヤホン/スピーカーマイクホンなど外部機器を接続します。

各部の名称と働き

⑧【PTT】スイッチ

押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

⑨【サイド1】キー

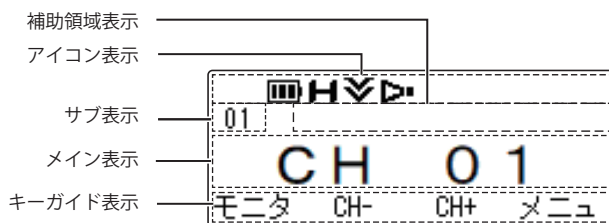
出荷状態で設定されている機能	
押す。	機能は設定されていません。
押し続ける。	送信出力(ロー・パワー)に切り替わります。

⑩【サイド2】キー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	機能は設定されていません。
押し続ける。	機能は設定されていません。

◆各操作キーの動作機能は出荷時の設定です。各操作キーの動作は販売店で設定を変更することができます。

表示部



表示エリア	説明
アイコン表示	設定された機能の動作をアイコンで表示します。
メイン表示	チャンネル番号やメッセージなどを表示します。
サブ表示	免許局のチャンネル番号などを表示します。 中継チャンネルの場合はチャンネル番号の前に" D"が表示されます。
補助領域表示	設定された機能の補助的内容を表示します。
キーガイド表示	【←】【▼】【▲】【0】キーを押すと起動する機能を表示部の下側に表示します。 ※表示されるキーガイドは無線機の状態で異なります。

各部の名称と働き

表示可能なアイコン

アイコン	説明
	受信している電波の強さを表示します。 📶 : 強 📶 : 中 📶 : 弱 📶 : 微弱 表示なし: キャリアなし
	バッテリー容量の残量を表示します。 🔋 : 高 🔋 : 中 🔋 : 低 🔋 (点滅): 早めに充電してください。
H	送信出力がハイパワーに設定されているときに表示します。
L	送信出力がローパワーに設定されているときに表示します。
PH	PTT ホールド機能が設定されているときに表示します。
	スキャン中に表示します。スキャンが一時停止中のときは点滅します。
AC	グループ ACS 機能もしくはデュアルグループ ACS 機能がオンのときに表示します。
	デュアルグループ ACS 機能で、サブグループのチャンネルで送信のとき、または停止中のときに点滅します。
#2	セカンド PTT 機能がオンのときに表示します。 セカンド PTT チャンネルを表示しているときは点滅します。
P	選択しているチャンネルまたはスキャン一時停止しているチャンネルがプライオリティチャンネルに設定されているときに表示します。
	選択しているチャンネルまたはスキャン一時停止しているチャンネルがスキャンの対象チャンネルであると表示します。
	秘話機能がオンのときに表示します。 暗号化された信号を受信すると点滅します。
	秘話プラス機能がオンのときに表示します。 暗号化された信号を受信すると点滅します。
	モニター機能がオンのときに表示します。
	Bluetooth 機能がオンのときに表示します。処理中のときは点滅します。 <small>(TCP-D261BTEのみ)</small>
	Bluetooth 機器と接続中に表示します。 <small>(TCP-D261BTEのみ)</small>
	キーロック機能がオンのときに表示します。
	サイレントアラーム機能が設定されているときに表示します。
	点滅: サイレントアラーム機能による音声ミュート状態のときに表示します。 点灯: 音声ミュートをキー操作で解除したときに表示します。
	はっきり聞き取り機能がオンのときに表示します。
	音量アットネート機能がオンのときに表示します。
	イヤホンモードがオンのときに表示します。
	選択呼出が一致しているときに点滅します。
	VOX 機能がオンのときに表示します。
	劇場モードがオンのときに表示します。
	外部スピーカーがオンのときに表示します。



◆各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。

操作のしかた

操作説明について

本取扱説明書の操作説明は工場出荷時に設定されている機能を説明しています。
操作手順の説明では、操作キー（**[O]**キー、**[電源/音量]**ツマミなどの、「キー」、「ツマミ」を記載しません。

通話する

- 1 **[電源/音量]**を時計方向に回して電源を入れる
「ピーッ」と鳴り電源が入ります。電源を切るには**[電源/音量]**を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。
- 2 **[電源/音量]**を回して音量を調整する
右（時計方向）に回すと音量が大きく、左（反時計方向）に回すと音量が小さくなります。
- 3 **[▲]**/**[▼]**を押して通話チャンネルを合わせる

電源オン/
音量上げる

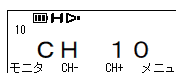


CH10 に設定の
A さん



通話できる

CH10 に設定の
B さん



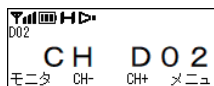
通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。相手局の電波を受信すると、LED が緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

- 4 **[PTT]**を押して送信する
送信状態になり、LED が赤色に点灯します。
 - 他に送信している無線局がないこと（送受信 LED の緑色が消灯していること）を確認してから送信してください。
- 5 **[PTT]**を押しながらマイクロホンに向かって話す
マイクロホンは口元から 3~4 cm 程度離してください。**[PTT]**を離すと待受状態に戻ります。



◆大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎたりすると、明瞭度が低下する場合があります。

- 6 相手の音声を受信する
[PTT]を離すと待受状態になります。相手が送信し、受信すると、表示部に電波状態のアイコンが表示されて、LED が緑色に点灯し、相手の音声聞こえます。



中継チャンネル 02 の例

7 【電源/音量】を反時計方向に回して電源を切る

使用後は、電源を切ってください。

電源オフ/
音量下げる



- ◆通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください（非常通信など電波法で定める場合を除く）。
- ◆使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。
- ◆本機はチャンネル増波に対応しており、75 チャンネルの利用が可能です。別売りの中継機を利用することで新設された 10 ペアチャンネルの利用が可能です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

通話するときのアドバイス

通話時間の制限について

本機は、1回の通話時間を、送信と受信あわせて1分間に制限しています。連続送信を自動的に停止する機能です。本機は、連続して1分以上の送信はできません。1分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合1分以上経過しないと再度送信することはできません。

Bluetooth[®]機器を使って通信する TCP-D261BTEのみ

本機のBluetooth機能を有効にすることで、弊社指定のBluetooth対応機器と接続することができます。

本機で接続できるBluetooth対応機器

本機に接続可能なBluetooth対応機器については、下記のURL および右記のQRコードからご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/support/com/wireless-headset>



Bluetooth機器とペアリングする

ペアリングとは、無線機とBluetooth対応機器の機器設定をお互いに登録する機能です。一度ペアリングしたBluetooth機器とは、再びペアリングする必要はありません。

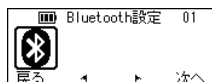
弊社指定Bluetooth対応機器KHS-55BTとの接続を例に説明します。

【無線機のBluetooth機能をオンにする】

1 【O】を押してメニューに入る

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。
(工場出荷時ではBluetooth設定のみが設定されています。)

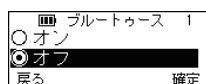
2 カテゴリーアイコンの「Bluetooth」にカーソルを合わせ、【O】を押す



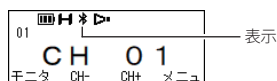
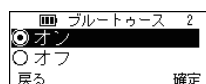
3 【▼】/【▲】で、設定項目の「ブルートゥース」を表示させ、【O】を押す

Bluetooth設定項目名が表示されます。

4 【▼】/【▲】で、「オン」を選択し、【O】を押す



【▲】
を押す



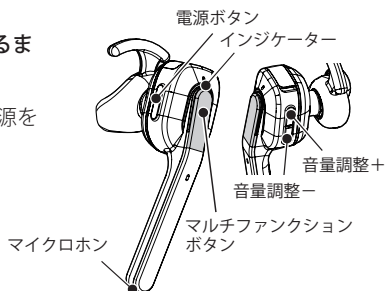
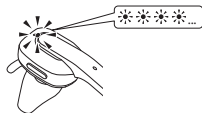
Bluetooth機能が起動し、アイコン「Bluetooth」が表示されます。

操作のしかた

【KHS-55BTをペアリングモードにする】

- 1 KHS-55BTの電源ボタンをインジケータが点滅するまで押す(約5秒間)

インジケータが速く点滅しないときはいったん電源を切って、やり直してください。



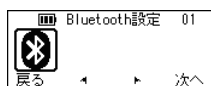
<KHS-55BT 各部の名称 >

【無線機からKHS-55BTをペアリングする】

- 1 【O】を押してメニューに入る

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。(工場出荷時では Bluetooth 設定のみが設定されています。)

- 2 カテゴリーアイコンの「Bluetooth」にカーソルを合わせ、【O】を押す



【O】
を押す

- 3 【▼】/【▲】で、設定項目の「BT機器」を表示させ、【O】を押す

Bluetooth 機器設定項目名が表示されます。

- 4 【▼】/【▲】で、「BT機器検索」にカーソルを合わせ、【O】を押す



【▲】
を押す



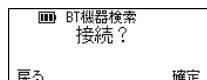
- 5 Bluetooth機器の検索を開始し、検出するとBluetooth機器を表示するので選択し、【O】を押す



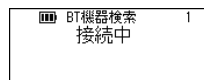
検出すると



- 6 接続確認メッセージが表示されるので、【O】を押し接続処理を実行する



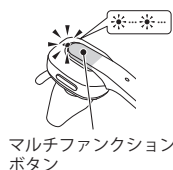
【O】
を押す



- 7 KHS-55BTが「ピピピッ、ピピピッ」と鳴ったら、マルチファンクションボタンを押す

KHS-55BTは接続完了後、インジケータがゆっくり点滅します。

無線機は「接続完了」を表示しアイコン「Bluetooth」が表示されます。



- 8 以降は、Bluetooth機能オンで、自動的に接続されます

操作のしかた



◆最大 10 台の Bluetooth 対応機器をペアリング登録できます。すでに 10 台登録されているときにペアリングをおこなうと、最も古く登録、または接続した Bluetooth 対応機器の登録を解除し、新しい Bluetooth 対応機器を登録します。

2.4FH1

- 「2.4」 : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- 「FH」 : 変調方式を表します (FHSS: 周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。
- 「1」 : 想定干渉距離を表します (10 m 以下)。
- 「---」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetooth に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。

本機の Bluetooth 機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本機の Bluetooth 機能をオンする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など (以下「他の無線局」という) が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の Bluetooth 機能をオフにしたうえで、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡いただき、混信回避の処置についてご相談ください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVC ケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他の基本機能

その他、出荷時に設定されている基本機能について説明します。

バックライト機能

LCDのバックライトを点灯させる機能です。暗い場所でLCD表示を見ることができます。

【PTT】以外の操作キーを操作すると表示部が5秒間点灯します。

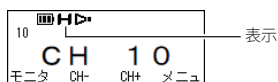
送信出力切替機能

送信出力をハイパワー(5W)からローパワー(1W)に切り替えます。

1 【サイド1】を押し続ける

送信出力がローパワー(1W)に下がります。ローパワーのときに【サイド1】を押し続けると、送信出力がハイパワー(5W)に戻ります。

●ハイパワー時は「**H**」が、ローパワー時は「**L**」アイコンが表示されます。



キーロック機能

【PTT】/【電源/音量】以外の操作キーに登録した機能をロックし、ポケットなどに入れているときの誤操作を防ぎます。

1 【O】を長く押す

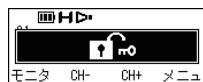
「**no**」アイコンが表示され、キーロックのポップアップが表示されてキー操作がロックされます。キーロック中にキーを操作するとビープ音が鳴り、キーロックのポップアップが表示されます。

2 【O】を長く押す

「**no**」アイコンの表示がなくなり、キーロック解除のポップアップが表示されてキー操作のロックが解除されます。



キーロック動作時



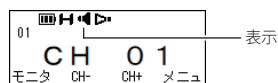
キーロック解除時

モニター機能

モニターとは待ち受けしているチャンネルに設定されているユーザーコードと選択呼出を一時的に解除する機能です。周囲に妨害を与えないよう、送信の前にチャンネルの使用状況をモニターする場合にこの機能を使用します。

1 【<】を押す

押しているあいだ、モニター機能がオンになり、一時的にスピーカーのミュートが解除されます。モニター中は「**no**」アイコンが表示されます。



● 選択呼出一致中に【<】を押すと、選択呼出しの一致状態がリセットされます。

2 【<】を離す

モニター機能をオフにします。

ラジオモードセレクション機能

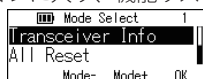
ラジオモードセレクションは、各モードをリスト形式で表示する機能です。
モードごとに用意されている起動手順を使用せず、各モードを選択できます。

ラジオモードセレクションの操作方法

1 無線機の電源を切る

2 【←】を押しながら無線機の電源を入れる

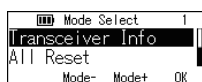
ラジオモードセレクションに入り、機能リストが表示されます。



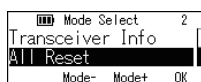
機能リストは以下のモードが表示されます。

- Transceiver Info : 無線機情報モード
- All Reset : 全初期化モード
- SPP : SPP モード (TCP-D2618TEのみ)

3 【▼】/【▲】で、モードを選択し、【○】を押す

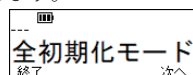


【▼】
を押す



【○】
を押す

選択したモードに移行します。



4 終了するには

ラジオモードセレクションを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

無線機情報モード

無線機に書き込まれているファームウェアバージョンを表示させる機能です。
ラジオモードセレクションからも起動することができます。《p.20を参照》

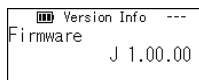
1 無線機の電源を切る

2 【サイド1】を押しながら無線機の電源を入れる

無線機情報モードに入り、「VERSION INFO」と2秒間表示した後、ファームウェアバージョンが表示されます。



▶
2秒後



【無線機情報モード起動画面】

【ファームウェアバージョン表示画面】

3 終了するには

無線機情報モードを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

全初期化モード

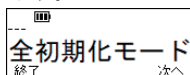
無線機各設定を、購入時の設定値に戻すことができる機能です。

ラジオモードセレクションからも起動することができます。《☞ p.20 を参照》

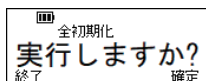
1 無線機の電源を切る

2 【サイド1】と【サイド2】を押しながら無線機の電源を入れる

全設定初期化モードに入ります。



3 【O】を押す



全初期化確認画面で、「実行しますか?」と表示されます。

4 【O】を押す

全設定初期化を実行し、無線機が再起動します。

【PTT】または【↵】を押すと、無線機は初期化されずに再起動します。

SPPモード (TCP-D261BTEのみ)

SPPモードとは、一時的にBluetoothが有効なモードに遷移する機能です。普段はBluetooth機能を使用していないが、販売店でのFPU通信をおこなうときだけBluetooth接続をしたい場合に使用します。

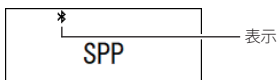
※ SPPとは、BluetoothのSerial Port Profileの略称です。

ラジオモードセレクションからも起動することができます。《☞ p.20 を参照》

1 無線機の電源を切る

2 【▲】を押しながら無線機の電源を入れる

SPPモードに入り、画面に「SPP」と、アイコン「*」が表示されます。



SPPモード起動後は無線機側からの操作は不要です。

販売店にてFPU(KPG-206D)からSPP通信をおこなってください。詳細は販売店にお問い合わせください。

3 終了するには

SPPモードを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

メニューモードについて

メニューモードはメニュー形式で機能を選択し、実行することができるモードです。



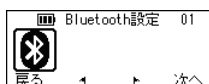
- ◆メニューモードの機能設定一覧は、出荷時の設定です。
- ◆TCP-D261BTE は出荷時、Bluetooth 設定のみが設定されています。
- ◆TCP-D261BTE は出荷時、項目が設定されていません。

メニューモードへの入り方

以下は TCP-D261BTE での操作例です。

1 【O】を押す

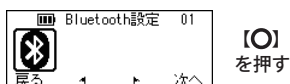
メニューモードに入り、カテゴリアイコンが表示されます。



メニューモードの操作方法

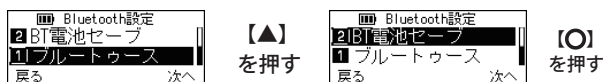
以下は TCP-D261BTE での操作例です。

1 カテゴリアイコンの「Bluetooth」にカーソルを合わせ、【O】を押す



機能リストが表示されます。

2 【▼】/【▲】で、機能を選択し、【O】を押す



選択した機能の設定値が表示されます。

3 【▼】/【▲】で、設定値を選択し、【O】を押す



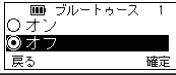
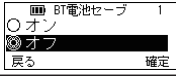

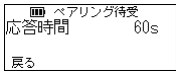
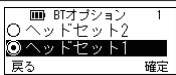

4 終了するには

メニューモードを終了するには、【←】を押すとチャンネル表示画面に戻ります。

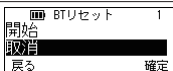
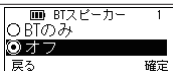
メニューモード機能一覧

出荷時、メニューモードには以下の機能設定項目が登録されています。

ブルートゥース (TCP-D261BTEのみ)	23
BT 電池セーブ (TCP-D261BTEのみ)	23
BT 機器 (TCP-D261BTEのみ)	23
ペアリング待受 (TCP-D261BTEのみ)	23
BT オプション (TCP-D261BTEのみ)	23
BT 情報 (TCP-D261BTEのみ)	23
BT リセット (TCP-D261BTEのみ)	24
BT スピーカー (TCP-D261BTEのみ)	24

機能項目表示	機能説明	
設定値	設定値説明	設定画面表示
ブルートゥース (TCP-D261BTEのみ)	内蔵 Bluetooth 機能を有効または無効にします。《p.16 を参照》	
オフ	Bluetooth 機能が停止します。	
オン	Bluetooth 機能が起動します。	
BT 電池セーブ (TCP-D261BTEのみ)	接続しているワイヤレスヘッドセットの電池の消費を抑える機能です。この機能を有効にすると、通話時に頭切れが発生することがあります。送信時は一呼吸おいてから通話を開始してください。	
オフ	BT 電池セーブ機能が停止します。	
オン	BT 電池セーブ機能が起動します。	
BT 機器 (TCP-D261BTEのみ)	無線機に接続する Bluetooth 対応機器を検索して接続することができます。	
登録済機器	登録済みの Bluetooth 対応機器を表示します。	
BT 機器検索	Bluetooth 対応機器を検索します。	
ペアリング待受 (TCP-D261BTEのみ)	Bluetooth 対応機器の検索に応答するための Bluetooth ペアリング待受モードに入ります。	
ペアリング待受モード	Bluetooth 対応機器からの検索動作に応答すると、無線機は Bluetooth 対応機器に Bluetooth 機器名と Bluetooth 機器アドレスを最大 60 秒通知します。 無線機が Bluetooth 対応機器からの検索動作に応答できる時間を表示することができます。 この機能を使用するためには、販売店にて FPU の Bluetooth ペアリング待受け (Bluetooth) チェックボックスを無効にする設定が必要です。	
BT オプション (TCP-D261BTEのみ)	Bluetooth HSP (Headset Profile) 接続を使用して無線機に接続する Bluetooth 対応機器 (ヘッドセット) の接続方式を設定することができます。	
ヘッドセット 1	KENWOOD 製 ワイヤレスヘッドセット KHS-55BT と接続する場合に使用してください。	
ヘッドセット 2	予備用 (使用しません。)	
BT 情報 (TCP-D261BTEのみ)	Bluetooth 情報モードに入ります。	
Bluetooth 情報モード	無線機に設定されている Bluetooth 機器名、Bluetooth 機器アドレス、デバイスクラスを確認することができます。	

操作のしかた

BTリセット <small>(TCP-D261BTEのみ)</small>	Bluetoothの機能をリセットすることができます。この機能を使用すると、無線機の電源を切ることなく、Bluetoothの機能を正常な状態に戻すことができます。	
取消	メニューモードを終了し、待受け表示に戻ります。	
開始	Bluetooth機能の設定内容をリセットします。	
BTスピーカー <small>(TCP-D261BTEのみ)</small>	無線機とヘッドセットプロファイルで接続しているBluetooth対応機器のスピーカーと、無線機の内部スピーカーとのあいだで音声の出力先を切り替えます。 Bluetooth対応機器と接続中の場合に切り替え可能となります。	
オフ	無線機の内部スピーカーに出力します。	
BTのみ	Bluetooth対応機器のスピーカーに出力します。	



◆表示されるメニューの項目やカテゴリーは設定により異なります。設定内容および機能の詳細や操作については、販売店にお問い合わせください。

販売店にて追加できる機能について

販売店でのオプション設定により、下記機能などが設定できます。

設定できる機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。

- はっきり聞き取りモード
- セカンド PTT(送信)機能
- グループ ACS 機能
- デュアルグループ ACS 機能
- ゾーン設定
- EMC-16(イヤホン付きクリップマイクロホン)の PTT/PF キー入れ替え設定
- 劇場モード
- 秘話機能
- 秘話プラス機能
- VOX
- 任意のチャンネルネーム設定
- 送受別 511 通りのユーザーコード設定
- 電池セーブ機能での eco モード設定
- 送受信音質調整機能
- イヤホンモード設定
- 通話開始トーン / 終話トーン
- マイク感度設定
- キー操作音設定
- 各種トーン音量設定
- 着信トーン編集
- キーロック機能設定
- チャンネル読み上げ機能
- カスタマイズ可能な電源オンメッセージ機能
- 本体および KMC-55(オプションスピーカーマイクロホン)のキーカスタマイズ設定
- PTT 選択呼出し機能
- ステータスメッセージ機能
- ショートメッセージ機能
- サイレントアラーム機能
- コネクトアンサー機能
- モニター機能
- エマージェンシー機能
- メニューモード項目追加 / 削除設定機能
- 拡張メニューモード
- 中継器の利用による中継用チャンネルの対応

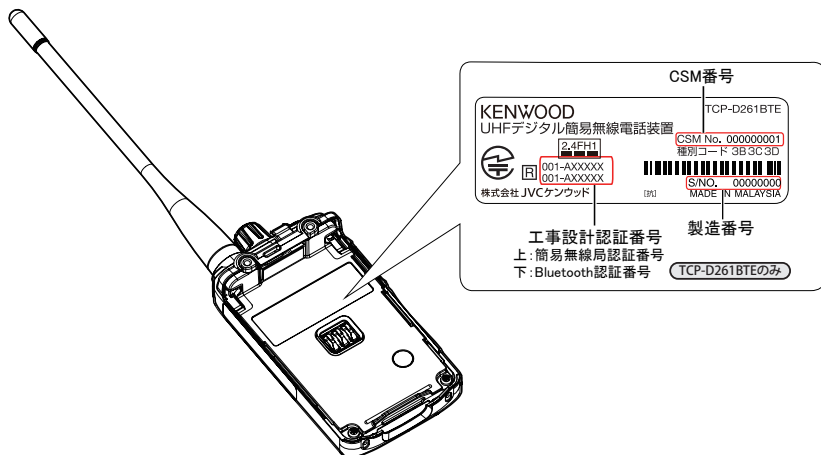
故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置	参照ページ
電源が入らない。	電池の容量が低下している。	バッテリーパックを充電する。	p.6
		バッテリーパックを交換する。	p.4
通話ができない。 【電源/音量】を回しても音が出ない。	相手局とチャンネル設定が違っている。	同じチャンネル設定にする。	p.14
	相手局と音声圧縮（符号化）の方式が違っている。	本機と同じ AMBE 方式の無線機と交信する。	—
	相手との距離が離れすぎている。	下記の通信のできる距離を目安に通信する。 ※送信出力 5 W 出力時 ・市街地: 0.5 km ~ 1 km ・見通しのよい場所: 1 km ~ 4 km 建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。	—
送信ができない。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続を確認する。	p.9
	通話時間の制限が働いている。	1 分間の連続送信により自動的に送信が停止した場合は、1 分以上待つ。	p.15
「接続異常」が表示される。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続を確認する。	p.9
Bluetooth 接続できない。 TCP-D261BTEのみ	接続する Bluetooth 機器の電源が入っていない。	Bluetooth 接続する機器の電源を入れる。	p.16
	Bluetooth 機能の設定が「オン」になっていない。	Bluetooth 機能の設定を「オン」にする。	p.16
	接続したい Bluetooth 機器以外の Bluetooth 機器を接続している。	接続したい Bluetooth 機器だけを電源オンにする。	p.16



電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、工事設計認証を受けた製品です。本機裏面の工事設計認証ラベルをはがさないでください。
- 本機を分解したり、改造したりして使用することは電波法により禁止されています。
- 本機は、工事設計認証を受けたアンテナのみご使用いただけます。
- 他人の通話を聞いて、その内容を漏らすこと、または窃用することは電波法により禁止されています。
- 運用上の制限
通話は免許状に記載された下記事項の範囲内でおこなわなければなりません。
 1. 無線局の目的
 2. 通信の相手方
 3. 通信事項
 また、免許人以外が運用することは原則としてできません。
- 免許の有効期限
免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。
- 再免許の申請
引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6か月前から3か月前までのあいだに、再免許の申請をしなければなりません。
再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 免許の申請その他の手続き
免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ・再免許の申請
 - ・免許状の記載事項に変更が生じる場合
 - ・免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
 - ・無線設備を変更する場合
 - ・無線局を廃止する場合
 簡易無線局の申請には、下図の工事設計認証番号での上側の「簡易無線局認証番号」を記入してください。



※各番号の記載位置は変更になる場合があります。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル		0120-2727-87
携帯電話からは、ナビダイヤル		0570-010-114
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、 ナビダイヤルがご利用になれない場合は		045-450-8950
FAX を送信される場合は		045-450-2308

住所	〒 221-0022	神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日	月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）	
受付時間	月～金曜日	9：30～18：00
	土曜日	9：30～12：00、13：00～17：30

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、下記 URL の弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© 2024 JVCケンウッド Corporation